

みんなで縄瀬小

(校長：北原 浩)



2学期 無事終了!

運動会に始まり、稲刈り、持久走大会・収穫祭等、たくさんの行事や諸活動で縄瀬っ子の成長が発揮できた2学期となりました。

いろいろな活動でご協力いただいた保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。

笑顔で元気いっぱいの子どもたちの姿がいろいろな場面で見られ、日々成長しているなあと実感しているところです。

ご家庭や地域での子どもたちの様子はいかがでしょうか? 今後とも協力し合って、子どもたちを見守っていただけたらと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、平成最後の年の瀬となりました。それぞれのお家でじっくり振り返りながら、新しい年、新元号の年に向けて、希望(抱負)をもちながら、よいお年をお迎えください。

スケート体験学習(5・6年)

体育の授業で、それぞれの地域の実態に応じて、サーフィンやスキー、スケート等を実施してもよいことになっています。

そこで本年度、縄瀬小では初めて5・6年生がえびの高原の屋外スケート場に行って、スケートの体験学習を11月29日(木)に実施しました。

少し肌寒さはありませんでしたが、晴天・無風という絶好のスケート日和の中、存分にスケート滑りを堪能できたようです。冬休みにもう一度連れて行ってとせがまれている家庭もあるようです。



民俗芸能交流会参加(5・6年)

12月2日(日)に都城市総合文化ホールで行われた民俗芸能交流会に、蔵元地区の保存会の皆様と5・6年児童が参加し、運動会で踊っている『奴踊り』を披露しました。大きなステージでも堂々と踊る姿はとっても輝いていました。

1月の目標

「かぜを予防しよう」

行事予定

【 1 月 】



1日(火) 元日

6日(日) まで 冬休み

7日(月) 第3学期始業の日
あいさつ運動(共和地区)
命の大切さを考える日
始業式
(3時間授業、給食なし)

8日(火) 読み聞かせ

10日(水) 立腰指導の日、清掃班編制
クラブ活動

14日(月) 成人の日

15日(火) 教育相談

16日(水)、17日(木)
市小学校学力調査(国・算)

17日(木) 委員会活動(見学:4年)

18日(金) 登校班長会、避難訓練(火災)
PTA新年会

20日(日) ファミリー読書の日

21日(月) 特別支援学級交流会

22日(火) 読み聞かせ

24日(木) 給食感謝集会、クラブ活動

26日(土) 市PTA研究大会

30日(水) 校内なわとび大会(3校時)

31日(木) 参観日、学校保健委員会

※図書返却週間 (7日~11日)

※朝の交通立番指導 (9日~11日)

※家庭学習がんばり週間 (14日~20日)

※あいさつ指導週間 (15日~18日)

※給食感謝週間 (21日~25日)

同じ2日に実施された、たかざき・地域公民館対抗駅伝競走大会に、

・甲斐 光稀さん(5年)
・末森寧々花さん(6年)が参加し、寧々花さんは区間賞でした。

2人とも素晴らしい走りでした。



特集：宮日新聞『若い目』掲載作文

12月9日に福井梨々花さん(2年)の作文が載り、本年度9名となりました。これまでに掲載された作文を今回と1月号で紹介します。ご一読ください。これから言葉や文章で『伝えること』を頑張っていきます。

そんな敬できる人

六年 横川 聖

みなさんには、そんな敬する人やありがたく思っている人がいますか。ぼくはそう聞かれたら一番に頭にうかぶのは5年生の時の6年生を思い出します。その中でも特に印象に残っている人がいます。その人とは家が近くて、小さい時からいろいろと助けてくれました。彼は3年生の時にトルコに行って去年の7月に帰ってきました。そして帰ってきてすぐ、運動会の副団長と全校リレーの選手に選ばれました。

しかし、予行練習の全校リレーでゴールした直後に、ゴールテープに足がからまってこけてしまい、あばら骨を骨折したので、びっくりしてとても心配でした。それから練習はほとんど見学でした。そして運動会当日、彼はケガでも参加し、いよいよ全校リレーになりました。彼は気を抜くことなく本気で走り見事に勝ちました。ぼくは別の団だったけど、心の中でとてもうれしく思いました。

このことから、どんなことでもあきらめずに最後まで気を抜かずにがんばればできるということを学びました。

(5月27日掲載)

夢は福祉の仕事

六年 末森 寧々花

私には小学校3年生の時から、しよう来つきたい職業がある。それは「理学療法士」だ。

3年生の時、おばあちゃんが体をいたがっていたので、マッサージをしてあげたら、すごく喜んでくれて私もうれしい気持ちになった。このことから私は人の体も心もいやせる「理学療法士」になりたいと思った。その他にもリハビリの手助けや上手に歩けない人・体が不自由で毎日が快適に過ごせない人のために力になりたいと思う。

私にはもう一つしようなの夢についての考えがある。それは大好きな「光」ともに「という本を読んだ事がきっかけである。その本には自閉しようなの子がたくさんの人たちに助けられながら成長していく姿が描かれている。この本を読み、福祉に関する仕事にもつきたいなあと少し思う。しようなの夢をかなえるには、きちんと専門学校で勉強し、コミュニケーション力とやさしい笑顔が必要だと思う。だから、たくさんの人たちと積極的に会話して、笑顔で接することを心がけたい。

(6月16日掲載)

私の好きな言葉

四年 平山 紗

私の好きな言葉は、三つあります。

一つ目は、「ありがとう」です。理由は、人に感謝されるのが好きだからです。「ありがとう」と言われると、心がほつとします。

二つ目は、「一緒に遊ぼう」です。理由は、友だちと遊ぶと楽しくなり、ハッピーになるからです。さそわれると、だれでも遊んでしまいます。

三つ目は、「おはよう」です。みんなにあいさつをされると、気持ちよくなります。あいさつは、人と人をつなぐ大事な言葉だと思います。あいさつという言葉だけで、「おはよう」がすぐ出てきます。

私は、この三つの「ありがとう」「一緒に遊ぼう」「おはよう」という言葉が大好きなので、いろんな時に使いたいです。

(7月11日掲載)

命大切にしたい

六年 松窪 清太郎

ぼくには、1ヶ月ほど前のできごとで、一生わすれられない思い出がある。それは、よく遊んでいたお母さんの弟が病気で亡くなったことだ。その日は休日で、重い病気があったお母さんの弟をお見まいに行った。お見まいの後、いとこも話して楽しかったが、急に心拍数が下がりはじめた。おじいちゃんやおばあちゃんも急いで病院へかけつけてきて、みんなで手や足をにぎって、「がんばれ、がんばれ」と言い続けた。お母さんの弟との思い出があふれてきた。

みんなががんばったが、心拍数がやがてゼロになった。病院の先生が来て、「脈も止まっています。心臓の音も聞こえませんでした」と聞いて、最初はなみだが止まらなかった。いとこはまだ小さく、お父さんが亡くなったことを知らないようにしたので、悲しませないように命は一つで、なくなったら人は帰ってこない。大切な人たちのためにも、ぼくは命を大切にしていきたい。

(8月14日掲載)